

天気予報では3月中旬から4月の気温18度上がるとのことで、花の開花や昆虫たちとの出会いを楽しみにしていましたが、公園の中は春の訪れが遅いようです。

コース 野の花苑-見晴らしの丘-くわくわ森-奥野遊水地-下飯田遊水地 - 今田遊水地


※ 外来種は外圍賞種はとつけまし

野の花苑 枯葉色だった地面に少しずつ緑色が回ってきました。2月から咲いているフクジュソウやユキワリイチゲ、カンザキアヤメ、シロワビスケは気温が低かったためか、まだまだ元気に咲いています。竹林周りにはフキノトウが顔を出しました。



枝垂れ梅 シダレウメ  中国原産




白梅 ハクハク  中国原産
奈良時代に入ってきた



三又 ミツマタ  中国ヒマラヤ地方
枝が3本ずつ分岐 紙幣の原料



福寿草 フクジュソウ  幸福と長寿の花だが毒草



日本スイセン 日本とついているが中国原産 毒草



沈丁花 シンショウ  中国原産室町時代に渡来



蕨の蓬 フキノトウ
フキの花芽

見晴らしの丘



紅梅 コウバイ  中国原産
2/1 から咲いているので開花です



白梅 ハクハク  中国原産
まだ蕾もありです



河津桜 カワヅザクラ 伊豆で鳥見
大島桜と寒緋桜の自然交配種

くわくわ森



接骨木 ニツトコ

枝、幹、葉の煎液を骨折や打撲の出傷に使うので名がつきました。花芽と葉芽が丸い芽の中に一緒に包まれています。暗い所では芽が出たばかり、明るい所では柔らかくて美味しそうな新芽です。花芽はプロコリーモックりで、山菜として食べますが、食べ過ぎはダメ



小蝸 コナラ

どんぐりの殻が割れて赤い種子がのぞき、まず殻が伸びて地面に落ち込んでいます。赤い部分が子葉で、ここに栄養が蓄えられています。これから芽が伸びてきます。森の再生のためこれを集めて育成畑を作り、コナラの苗を育てる予定です。

くわくわ森を離れて見ると、落葉樹の枝先はほんのりと色づき春が間近と感じられますが、杉の木には花芽がつき、これから花粉を飛ばそうと準備しています。



下飯田遊水池



下飯田遊水池を見下ろす場所に、柳の木が立っていましたが、何回かの台風や大風で折年とうとう横倒しになってしまいました。終わりかしらと思っていましたが、枝先まで元気に芽を吹いています。倒れてもそこから根を出すそうなので、頑張れ！と声援を送りました。



猫柳 ネコヤナギ ヒヨドリが花穂を夢中で食べています



西洋蒲公英 セイヨウタンポポ 外花の裏側を見ると総苞という花を包むものが外側にくるりとめくれています。オス、メスなく繁殖できるので、一年中どこでも増えることができます。



野芥子 ノゲシ 早春から秋口まで長い間咲いています。鬼野芥子と似ていますが、小ぶりで葉が柔らかいです。

田んぼ、畑 冬から咲いている植物もありましたが、やっと春らしく元気があります。



薺 ナズナと
私の座 ホトケノザ



大犬の陰囊 オオイヌノフグリ 外西アジア、中近東原産



鈴子草 ヒメオドリコソウ 外欧州原産



紫茎 ハコベ(コハコベ) 外欧州原産
小型で茎が紫色をおびます



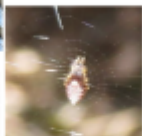
チョウゲンボウ♂



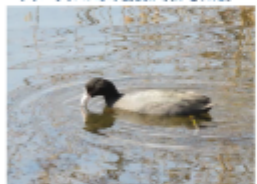
チョウゲンボウ♀



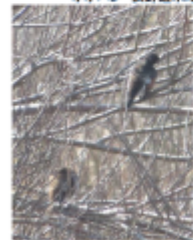
グリハリスにより樹皮が剥がされた。



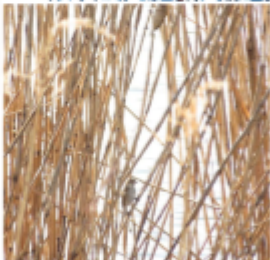
ギンメッキゴミグモは上を向いて網に止まります。くわくわ森



オオバン 後野遊水地



ツグミ
後野遊水地



オオジュリン 後野遊水地



オオジュリン



コガモとインシギ 和泉川合流点



キセキレイ 境川



コサギ 和泉川新築橋下流



トビ



キジ 下飯田遊水地



タヒバリ

下飯田遊水地



ツグミ



カワセミ



クイナ 下飯田遊水地



アオサギ 今田遊水地



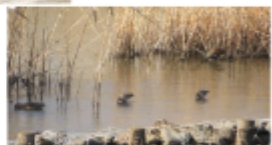
ハシビロガモ



オカヨシガモ



オオバンの足に注目!



タンギとバン

2月にいた場所は水が無くかなり移動してきた。



バン



ムクドリ水飲み



アオドウガネ
の死骸



カワラヒフ
公園前